

中学1年生の保護者の皆様

四国中央市教育委員会

令和4年度四国中央市標準学力調査の実施結果について

去る1月に実施いたしました本市の中学1年生の結果をお伝えします。

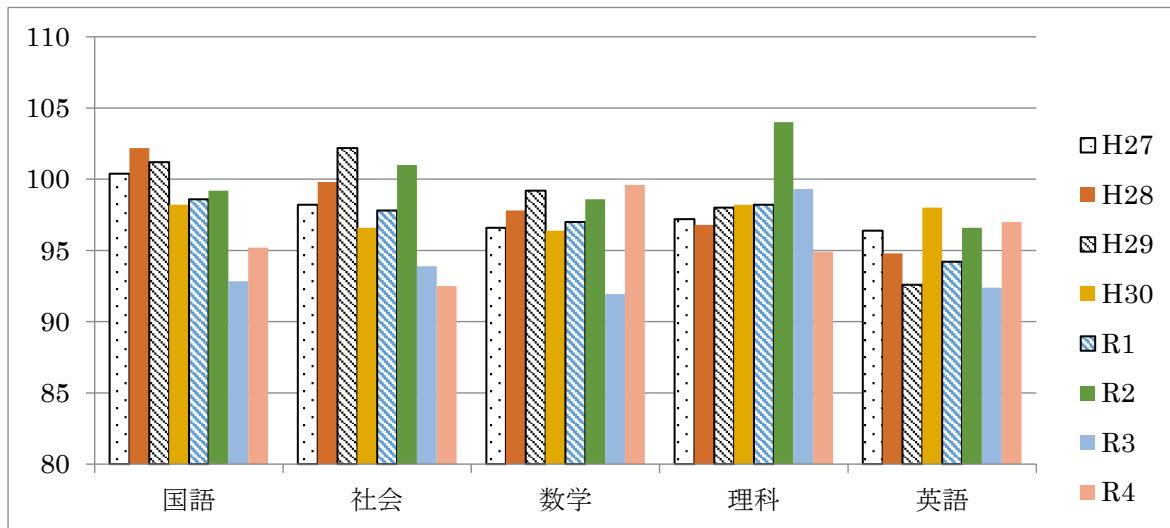
1 概要

学年	教科	結果の概要
1年	国語	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況と言えますが、「文章を書く」と「漢字を書く」に課題が見られます。「書くこと」「主体的に学習に取り組む態度」の育成が必要です。
	社会	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況ですが、「基礎」に課題が見られます。問題内容では、「世界の諸地域」に課題があります。
	数学	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「活用」の力にやや課題が見られますが、「基礎」の力は全国を上回っています。
	理科	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。特に「活用」の力は、全国を大きく上回っています。
	英語	全国平均とほぼ同程度で、おおむね良好な状況です。「書くこと」にはやや課題も見られますが、「聞くこと」「読むこと」の領域は力が付いています。

2 学力の経年変化

- ・ 市内の中学1年生の平均正答率を、全国平均を100として比較したものです。
- ・ 平成27年度からの経年変化を表しています。

※ 平均正答率とは、一人一人の児童の正答率（全設問のうち何%の設問に正答したか）を平均したものです。



3 各校における成果と課題

各校から、別紙にてお知らせします。

4 個に応じた事後指導

調査を受けた一人一人に、各教科の「弱点克服のためのフォローアップシート」を提供します。正答率が高かった生徒には、「チャレンジシート（発展的な問題）」を提供します。

なお、調査用紙の返却は、調査会社との取り決めにより、令和5年3月10日（金）以降にいたしますので、御了承ください。